

J-SER 10th Anniversary Annual Conference

学術英語学会 2024 年度年次研究大会

The 10th Annual Conference of Japan Society of English for Research –Hybrid Conference–
<2024 年 9 月 15 日（日曜日）／Sunday 15th of September, 2024>

* 参加費 正会員 3,000 円／院生会員 2,000 円／一般参加 3,000 円

* Zoom URL 情報は支払い確認後にお知らせいたします。

時間（予定）	発表者（敬称略） 題目	司会（進行）
9：50	開場	本部事務局
10：00から10：15	開会の辞 （年次大会実施に関する諸注意等、含）	本部事務局
午前中の発表セッション テーマ：大学の文脈における学術英語の検討		
10：15から10：55 第一発表	『アカデミック・ディスカッションに必要な能力とは：大学生英語学習者のデータから』 高山 春花（東京大学）	松田 紀子 （30分発表、10分 質疑応答）
11：00から11：40 第二発表	『大学英語授業における音声活動の検討 ―学生の授業内の取り組みと感情に着目して―』 興石 采佳（東京大学大学院）	榊原 知樹 （30分発表、10分 質疑応答）
11：45から12：25 第三発表	『Practical Techniques to Empower Lecturers for Teaching EMI Courses』 Ian Hurrell（東洋大学）	西山 幹枝 （30分発表、10分 質疑応答）
12：30から13：40	昼休み	
13：40から14：00 （会員のみ）	学会活動報告	本部事務局
午後の発表セッション		

テーマ：English for Specific/Academic Purposes の文脈における学術英語の検討		
14:00から14:40 第四発表	『英語コミュニケーションの事例から考える学術英語研究への示唆：ある外資系日本法人での最新のツール利用状況』 藏屋 伸子（東洋大学）	森本 真理 （30分発表、10分 質疑応答）
14:45から15:25 第五発表	『BBC ドラマ“The Salisbury Poisonings”での医学英語その使用方法について』 井谷 善恵（帝京大学医学部診療放射線学科）	加藤 穰 （30分発表、10分 質疑応答）
15:40から17:10	基調講演 笠原順路（元東京大学助教授、明星大学名誉教授） 『人間味のある英語での学術交流をめざして』	佐藤洋一 （75分発表、15分 質疑応答）
17:10	閉会の辞	本部事務局
～17:30まで	休憩、懇親会準備	本部事務局
17:30から20:00	懇親会	

*セッションの間に、スピーカーの交代を兼ねて5分程度の休憩をもうけます。

*発表者の都合で当日タイトルが若干変更になる場合があります。

*各セッションは、万が一の事態を想定して録画をさせていただきます。録画したものは一部広報用動画として利用させていただくことがあります。